

研究課題の名称

妊婦の血圧上昇に影響する因子～生活に密着した視点から～

研究の目的及び意義

本研究は血圧・身体活動量・睡眠、排泄、食事、外出、家事等の生活活動を行う時間や回数を調査し、血圧と身体活動量、生活活動の関係を分析し、妊娠期において生活の何が血圧上昇に影響を与えるか、どのようなリスク因子を有する妊婦を外来で重点的にフォローする必要があるのかについて考察する事を目的とする。

妊婦の血圧に関する研究や、妊婦の身体活動量を調査した先行研究はいくつかあるが、それらを同一人物で調査し、HDP リスク因子で比較している研究は、ほとんどみられない。また、HDPの症例報告もあるが、重症例であることが多く、若干血圧の高い妊婦への健康教育に当てはめて考えることは難しい。しかし、その様な若干血圧の高い妊婦は、血圧の基準値が 130/80mmHg へ引き下げられることがあれば今後増加することが見込まれる。

そのため、本研究を実施することができれば、今後増加が見込まれる血圧の高い妊婦の管理を実際にどのように行えばよいかについて具体的な示唆を得ることができ、周産期における妊婦の健康教育に貢献できると考えられる。

研究対象者の選定方針

対象者は、妊婦 20 名とする。時期は、妊娠 28 週～妊娠 32 週頃(先行研究による血圧上昇がみられやすい時期の手前で、つわりがおさまり、普段の生活を反映することに適している。

研究予定期間

承認日 2019 年 12 月 23 日から西暦 2022 年 3 月 31 日